

こども食堂ネットワークいるま・活動助成金報告書

報告日

8年 3月 27日

事業名	あいくる・みんなの広場（あいくる・みんなのひろば）									
団体名	NPO法人 AIKURU（エヌピーオーハウジン アイクル）									
代表者名	宮岡 幸江									
助成金回数	食事あり	12	回	食事なし	0	回	食事あり延べ人数	1,497人	食事なし延べ人数	人
	年間活動回数		12	回	参加人数総数		1497		人	

活動報告

今年度もたくさんのこどもたちや保護者の方々とお弁当配布のやり取りができ、こどもたちの日常を伺えることができました。子育て支援センターで開催しているこども食堂、あいくる・みんなの広場巣立っていった親子さんに会えるのもありがたい時間です。当日のお弁当の材料や季節の野菜の話、給食や幼稚園の行事の話、今流行ってるもの、家族で楽しんできたことなど、日頃の様子をたくさん話してくれるこどもたちの笑顔がそこにいる大人を笑顔にします。そんな様子を地域の方々も見守っていただき、少し立ち寄ってくれたり... 月一回の開催ですが、多年齢のちょっとしたコミュニティになっております。地域の方々からのご提供品があり、美味しく調理してくれるボランティアさんのご厚意があり、会場セッティングに近隣施設の協力があり、毎月このようなこどもたちとのふれあい時間が無事に開催できました。ありがとうございました。



季節の野菜を、煮て焼いて揚げて。
色々な食感を味わえます！

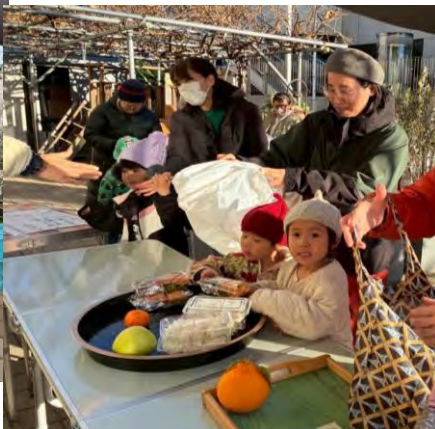


お天気が悪くても
こどもたちと頑張ってお弁当を出かけてきてくれます

成長しても毎月来てくれてありがとう！

ボランティアさんの手際の良さに
いつも感謝しています。

果物やお菓子も嬉しいです！



こども食堂ネットワークいるま・活動助成金報告書

報告日

年 月 日

事業名	AIKURU FREE BASE							
団体名	NPO法人AIKURU (えぬびーおーほうじんあいくる)							
代表者名	宮岡 幸江							
助成金回数	食事あり	48	回	食事なし	0	回	食事あり延べ人数 1,908人	食事なし延べ人数 人
	年間活動回数	48	回	参加人数総数	1908	人		

活動報告

今年度も毎週金曜日17:00~21:00の時間で活動を行いました。
年度当初は参加者平均が30人くらいでしたが口コミなどで徐々に増え、最近では40人を超すことも多くありとても賑やかです。
みんなそれぞれにおしゃべりをしたり、絵を描いたり、ゲームをしたり、楽器を弾いたり、勉強をしたりと好きなことをして過ごしています。

活動では毎回夕飯を作っていますが、今年度は決まった子が調理するわけではなく、料理好きな子から普段家で料理をしない子まで、いろんな子どもたちが作ってくれました。
フリーベースで初めてお米を研いだ子、野菜を切った子もいてとてもいい体験の場になっています。
また配膳でも、ご飯をよそったり、汁物をお盆に載せて運んだり、どの子も積極的に仕事してくれます。
おかわり!の声も出て、みんなお腹いっぱいごはんをいただいています。
ここに来る理由のなかにも、ごはんがあることを挙げている子もいて、食事ができることや、食事作りを通じてのコミュニケーションが大切にされていると感じます。

また今年度も子どもたちからの「やりたい」の声があがり、様々な企画にチャレンジしました。
今年の宿泊企画は、たくさんの人が参加できるように市内の青少年活動センターで行いました。
いつもと違う場所での調理が新鮮で、普段やらない子も調理に参加。
ビュッフェ形式でよそったお皿にはおいしいごはんが山盛りになり、みんなの「いただきます!」の声がいつもより大きく響きました。
ハロウィンやクリスマスなどの季節のお楽しみイベントでも、たくさんのお菓자에囲まれてみんな大喜びでした。

フードパントリーのコーナーには、お菓子やレトルト食品が置いてありますが、誰でも気軽にもらえるようにしているので手取りやすく、家でごはんを食べるのが難しい子ももらって帰っていました。

ネットワークの助成金をはじめ、地域の方、支援センターに来てくれている親子さん達からの温かいご支援のおかげで今年もたくさんの活動ができました。
1年間本当にありがとうございました。



事業名	東町にここ広場（あずまちょうにここひろば）									
団体名	東町にここ広場（あずまちょうにここひろば）									
代表者名	山岡 信幸（やまおか のぶゆき）									
助成金回数	食事あり	16	回	食事なし	0	回	食事あり延べ人数	981人	食事なし延べ人数	0人
	年間活動回数	16	回	参加人数総数	981	人				

活動報告

東町にここ広場では、主に2種類の活動を行っています。一つは、毎回100人程が集まるイベントです。偶数月第4週の日曜日、10時から13時に、えんじえる姉さんによる「工作教室」から始まり、自由に遊べるプレイルーム（カプラやペットボトルボーリング等）、にここ10円バザー、そしてメインはみんなで一緒に食べるお楽しみ昼食です。助成金に加えてフードバンクや支援者の皆様からの食材を中心にたてたメニューは、毎回は、毎回大好評です。みんなで一緒に囲む食卓は本当に笑顔でいっぱい。。つついいつも嫌いと残してしまうお野菜まで平らげてしまう子供たち。。また、会場となっている東町地区センターは、エレベーターが完備さが完備されているので、車いすの方でも無理なく参加できます。みんなウェルカムです。

活動のもう一つは、チャレンジひろば東町（学習支援の場）への手作り弁当の差し入れです。こちらでも50食弱を提供しています。小学生の部が終わり、中学生の部が始まる前の時間にみなさんでお弁当を頂きます。これが一番楽しみ！！なんて声も聞かれます。これらの活動の中で、しみじみ感じることは、食べることは生きる気力とやる気の源であるということ、この大切さを子どもたちに提供出来ている事を支えてくださるすべての皆様に感謝申し上げます。



こども食堂ネットワークいるま・活動助成金報告書

報告日 2026年 3月 29日

事業名	冒険遊び場いるぱーく									
団体名	いるまプレーパーク作り隊（いるまぶれーぱーくつくりたい）									
代表者名										
助成金回数	食事あり	11	回	食事なし	3	回	食事あり延べ人数	934人	食事なし延べ人数	358人
	年間活動回数		14	回	参加人数総数		1292	人		

活動報告

「冒険遊び場いるぱーく」は青少年活動センターを主な開催場所として、「主体的なあそび」の場として、月に1回程度活動しています。（今年度は第3土・日のどちらか）できるだけ禁止事項を少なくし、自分がやりたいことをできるあそび場です。モットーは「やりたいことだけやればいい」未就学児は親子で、小学生以上はこどもだけであそびに来れます。自然の中に活動だからこそ五感をフルに使って四季折々のあそびが自ら生まれています。

また、今年度11月に初めて「豊岡女子学園グラウンド」（豊岡地区）にているぱーくを開催しました。そして、藤沢東小学校の創立記念事業と同時開催で同校庭で開催しました。小学生やその家族が、校庭で木工作やチョークでお絵描き、ハンモック、火おこしなど、自由にのびのびと過ごしていました。

土の活動でも「火おこし」は常に人気なあそびで火を起こすために、こどもから大人までメタルマッチや虫眼鏡等で本気で取り組む姿が印象的です。小さな火がついても、それを継続的な火にするまでも難しく、何度も繰り返しチャレンジしています。火が大きくなると、マシュマロやお餅を焼いて美味しくいただいて楽しく過ごしています。今年度はそれ以外にも、サバイバル飯（アルミ缶でご飯を炊く）作りや、べっこう飴づくりなども挑戦しました。自分のやりたい事を自由にする中で、火を使い調理し、できたものを食べられるという体験はかけがえない時間になっております。

食材や必要な用具等の購入により、遊びの中で、こどもから大人まで「やりたい」と思ったことを自分で考えて行動する活動が継続できており、感謝しております。



事業名	フリースペース(学習支援を含む子どもの居場所)									
団体名	久保稲所、たかよし広場									
代表者名	三原 井 麻子									
助成金回数	食事あり	21	回	食事なし	1	回	食事あり延べ人数	1080	食事なし延べ人数	18
	年間活動数		22	回	参加人数総数		1463	人		
活動報告										

主に、扇小学校区の子供の居場所・世代間交流の場として実施しています。
毎週、第1・3火曜日の午後3時～5時半

活動内容は、学習支援・自由遊び・食事提供(無料)とし、地域の中で学校・家庭でも無い第3の居場所として、居心地の良い場所作りをスタッフ一同心がけています。

12月にはクリスマス会、3月には6年生を送る会を実施しています。

現在、登録者数427名、スタッフ20名、随時スタッフ募集しております。



こども食堂ネットワークいるま・活動助成金報告書

報告日

令和8年3月28日

事業名	高倉スマイル広場(たかくらすまいるひろば)							
団体名	高倉スマイル広場(たかくらすまいるひろば)							
代表者名	西澤裕子(にしざわひろこ)							
助成金回数	食事あり	5	回	食事なし	1	回	食事あり延べ人数 1,082人	食事なし延べ人数 303人
	年間活動回数		6	回	参加人数総数		1385	人

活動報告

- ・高倉分館開催の高倉スマイル広場では、年間を通して高倉小学校のお子さん、地域の方がたくさん来場してくださいました。高倉小学校、黒須中学校、豊岡中学校にボランティア募集をかけ、毎回子どもたちのボランティア、また地域の方のボランティアの方に協力していただきました。
- ・スマイルカフェコーナーは、おいしく、かつ子どもたちが手伝えるメニューを担当スタッフが考案しました。毎回好評で、中にはレシピを教えてほしいと言ってもらえることもありました。子どもたちも食事を楽しみしてくれる子が多く、おいしい！と評判でした。
- ・遊びのコーナーは、大人気の射的やボードゲーム、小さい子向けのおままごと、電車のおもちゃなど、遊びの種類を多く展開し異年齢の子どもたちが交流できる場、また子どもたちで遊びを楽しめる環境づくりを工夫しました。食事までのあいだ、食後、各々が好きな場所で好きなことをして遊ぶ、子どもたちの居場所づくりが定着しつつありました。昨年度から始めた『なぞとき』は毎回好評で、大人の方も真剣に考え、一緒に考えたりお互いに教えあったり、世代間交流の場にもなっていました。
- ・工作コーナーは、担当スタッフが季節のものなどを毎回考えて用意し、工作を楽しみに来る子どもたちが多かったです。小さい子のお手伝いを大きな子やボランティアの中学生高校生がしたり、親子で楽しむ姿も多く見られました。
- ・地域交流の場として、中学校の吹奏楽部さんの演奏会をしたり、ちびっこダンス発表会、消防署によるAED体験、少年野球によるストラックアウト、保健師さんによる健康相談、などイベント要素も取り入れました。より多くの方が楽しめる、交流が生まれる場を作ることができました。



こども食堂ネットワークいるま・活動助成金報告書

報告日

令和8年4月5日

事業名	なかよし食堂									
団体名	なかよし食堂									
代表者名										
助成金回数	食事あり	35	回	食事なし	0	回	食事あり延べ人数	2,005人	食事なし延べ人数	人
	年間活動回数		35	回	参加人数総数		2005		人	

活動報告

今年度も地域の皆さまのご協力をいただき、なかよし食堂を開催することが出来ました。ありがとうございました。今年度毎月3回程度のお弁当配布には、お寺様のお供え物をいただいて一緒に配布。近隣の方よりいただいた野菜の配布などたくさんの方にご協力をいただきました。なかでも県こども食堂ネットワークからご紹介いただいた(株)ピクルス様からのキムチづくり体験は楽しい時間を過ごすことが出来たと思います。野菜の収穫を体験。そしてキムチ作り体験では、それぞれがこども一人ひとりに合わせた好みの味付けをさせていただきました。参加した皆さんは、お子さん一緒に過ごした良い思い出作りが出来た事と思います。スタッフも一緒に参加して楽しい時間を過ごしました。また、フジパン様から菓子パンに寄贈を、コストコホールセールジャパンからはケーキの寄贈をいただきました。なかよし食堂は地域の皆様のご協力によって開催出来ていることを改めて実感いたしました。皆様への感謝は尽きません。有難うございました。



こども食堂ネットワークいるま・活動助成金報告書

報告日 令和8年 3月 31日

事業名	子ども食堂nukunuku (こどもしょくどうぬくぬく)									
団体名	子ども食堂BASE (こどもしょくどうべいす)									
代表者名	武久 本子 (たけひさ もとこ)									
助成金回数	食事あり	12	回	食事なし	0	回	食事あり延べ人数	648人	食事なし延べ人数	人
	年間活動回数		12	回	参加人数総数		648		人	

活動報告

2025年度 年間活動報告

子ども食堂nuku nukuは、子どもと保護者が安心して過ごせる居場所づくりを目的に、地域に開かれた交流の場として継続的に活動を行ってきました。食事の提供に加え、遊びや体験、交流を通じて、子どもも大人もゆっくりと過ごせる空間づくりを大切にしています。

活動では、子どもたちがボランティアと自由に遊び、保護者は見守りながら会話や自分の時間を楽しむなど、それぞれが思い思いに過ごす姿が見られました。このような環境により、子ども・保護者双方にとって安心できる居場所として定着してきています。

また、高校生や中学生をはじめとした学生ボランティアの参加により、遊びやパフォーマンスなど多様な体験が生まれ、子どもたちにとって貴重な学びと交流の機会となりました。地域の大人や青年ボランティアも加わり、多世代が関わる活動へと広がっています。

さらに、工作やワークショップ、季節に応じた企画、食品ロス削減を意識した取り組みなどを通じて、継続的に参加したくなる魅力ある場づくりを行いました。地域イベントとの連携により、新たな参加者の増加や交流の広がりも見られています。

活動を重ねる中で、利用者同士のつながりや信頼関係が育まれ、安心感とゆったりとした雰囲気が会場全体に定着してきました。

今後も、誰もが気軽に立ち寄れる「みんなの居場所」として、地域に根ざした活動を継続してまいります。



こども食堂ネットワークいるま・活動助成金報告書

報告日 令和8年 4月 11日

事業名	みんなのカフェテリア（みんなのかふえてりあ）									
団体名	みんなのカフェテリア（みんなのかふえてりあ）									
代表者名										
助成金回数	食事あり	12	回	食事なし	0	回	食事あり延べ人数	1,993人	食事なし延べ人数	人
	年間活動回数		12	回	参加人数総数		1993		人	

活動報告

インクルーシブ食堂「みんなのカフェテリア」では、地域のこどもから高齢者まで誰もが気軽に集まり、食事や交流を通してつながりを感じられる居場所づくりを目的に、月に1回開催しました。

毎回、地域の方々に向けてカレー弁当の配布を行うとともに、八百屋さんや地域の方から寄付いただいた野菜や食材の配布も行っています。家庭での食事を支えると同時に、食品ロスの削減にもつながる取り組みとなっています。

また、こどもたちが楽しめる企画として、お絵かきや折り紙などのワークスペースを設けており、待ち時間も楽しく過ごせる場づくりを行っています。こどもだけでなく保護者や高齢者の方も参加し、世代を超えた交流の場として定着しています。放課後等デイサービスに通うこどもたちの絵の展示なども行い、地域の方にこどもたちの活動を知っていただく機会にもなりました。

季節行事に合わせたイベントも実施しており、ハロウィンではフォトスポットの設置、クリスマスにはくじ引き大会、バレンタインにはチョコレートの配布など、参加者に楽しんでもらえる企画を行いました。また、児童虐待防止や認知症啓発のシンボルカラーであるオレンジ色のわたあめを配布するなど、啓発の要素も取り入れています。

さらに、こどもたちの生活を支える取り組みとして、レトルト食品や菓子パンなどの食料配布、こども服や学用品の回収・配布も実施しました。夏休みなど給食のない時期には、こども向けの食品配布を強化するなど、生活状況に配慮した支援を行っています。

活動は多くの地域団体や企業、ボランティアの皆様のご協力によって支えられています。企業からの食品やお菓子の寄付、フードバンクいるまからの食料支援、地域の方からの農産物や衣類の寄付など、多くの温かいご支援をいただきました。また、学生ボランティアや地域住民の参加により、地域ぐるみの活動として広がっています。

「みんなのカフェテリア」は、食事提供の場だけではなく、地域の人々が自然に交流し、支え合うコミュニティの拠点としての役割を担えればと思います。



こども食堂ネットワークいるま・活動助成金報告書

報告日 2026年 4月 15日

事業名	ゴリラの勉強会・ゴリランド									
団体名	ゴリラの家族(ごりらのかぞく)									
代表者名	梅 裕晶									
助成金回数	食事あり	31	回	食事なし	12	回	食事あり 延べ人数	1,225人	食事なし 延べ人数	164人
	年間活動回数		43	回	参加人数総数		1389	人		

活動報告

・昨年度から継続して参加してくれている中高生だけでなく、地域でパフォーマンス活動を行っている児童や、バンド活動に取り組みたい児童など、自分のやりたいことが明確にある児童の参加が多かった。その熱意に動かされ、仲間同士でバンドを組んだり、協力して調理やイベント企画を進める姿見受けられ、昨年度以上に子どもたちがやりたいことに集中して取り組める環境をつくることができた。

学習支援事業においても、昨年度より利用者が増え、テスト前などに定期的に利用する姿が見られた。
居場所づくり事業においては、夕飯のメニューをリクエスト方式で事前に聞くことで、自身のつくりたいものや、調理方法がわからないものについては、他のメンバーと一緒に調べながら調理に取り組む姿が見られ、仲間同士のコミュニケーションを図る機会を増やすことができた。
また年間を通して地域の子ども会や地区センターと協力してイベント開催した。今年2回目となる『ゴリラ祭り』では、中高生が約半年間をかけて自分たちが出したいお店を企画、準備を進め、脱出ゲームや、オムライス、ポップコーンなどの飲食系のお店を、チームごとに協力しながら取り組むことができた。

来年度は、この2年間で成長してきたメンバーを中心に、自分たちで夕食のメニューを毎回決めることや、中高生会議を導入することで、イベント企画なども自分たち1から取り組むことができるような体制をつくってきたい。



こども食堂ネットワークいるま・活動助成金報告書

報告日 2026年 4月 15日

事業名	ゴリラの遊び場～GOASOBI～									
団体名	ゴリラの家族(ごりらのかぞく)									
代表者名	梅 裕晶									
助成金回数	食事あり	6	回	食事なし	14	回	食事あり 延べ人数	566人	食事なし 延べ人数	271人
	年間活動回数		20	回	参加人数総数		837		人	

活動報告

・今年度は、中盤から開催時間を午後からに変更し、扇町屋地区センターを中心とした活動を行った。参加数については、固定メンバーが参加してくれることが多かったが、10月以降から地域子ども会や、郷土かるた参加者への声かけを重点的に行ったことで、徐々に参加数を増やすことができた。

年度を通し、うちわづくりや、マーブリング技法を使ったけん玉づくりなど、工作系のイベントや、巨大ケーキづくりなどの調理系のイベントであった。『普段できないことができて楽しかった』という声も聞くことができ、今後も小学生が様々な経験や体験ができるイベントの開催が必要であると感じた。

また、今年度のゴリラ祭りでは、中高生だけでなく小学生もオムライスやパンケーキづくりに率先して参加する姿が見られたため、来年度以降も引き続き多くのこどもたちが参加できるような体制を整えていきたい。



こども食堂ネットワークいるま・活動助成金報告書

報告日 和8年 3月 30日

事業名	すまいりー・くらぶ									
団体名	すまいりー・くらぶ									
代表者名	小林 麻理子									
助成金回数	食事あり	0	回	食事なし	11	回	食事あり延べ人数	人	食事なし延べ人数	175人
	年間活動回数		11	回	参加人数総数		175	人		

活動報告

すまいりー・くらぶは、日本人と外国人の交流サロンです。

作や風船遊び、外国の言葉で絵本の読み聞かせなどをして楽しく活動しています。

イベントやクリスマス会を開催しました。

七夕イベントでは(星飾りを作って星祭りを楽しもう)を開催、笹飾りを作って飾り、短冊に書いた願い事を外国語に翻訳するイベントをしました。

クリスマス会ではカナダのクリスマス風景をプロジェクターを使用して写真スライドと音声で紹介、外国語で紙芝居の読み聞かせをしました。マジックマンさんを招いてマジックショーを楽しみ、サンタさんからのお菓子のプレゼントに子どもたちは大喜びでした。

工
七夕



こども食堂ネットワークいるま・活動助成金報告書

報告日 令和 8年 4月 14日

事業名	こくごクラブ					
団体名	こくごクラブ					
代表者名	中村 廣子					
助成金回数	食事あり	0	回	食事なし	44	回
					食事あり延べ人数	人
					食事なし延べ人数	508人
	年間活動回数	44	回	参加人数総数	508	人

活動報告

本年度は、日本語が話せないペルー人の姉妹、中国人の姉弟を新たに迎えました。日本の学校に慣れるまで不安で時間がかかった子どももいましたが、今は、笑顔が見られるようになっています。こくごクラブでは学習に集中した後にお茶の時間を設け、そこで季節の遊びやゲームなどみんな一緒に遊んでいます。今後とも学校や地域との連携も大切にして、外国人の子どもへの理解が深まればと願っています。又、高校受験対象の子ども1名の支援、慣れない保護者へのサポートも繰り返し行いました。子どもは、外国人受け入れ高校の受験に必要な学習を頑張り、無事合格しました。大人の学習者1名も頑張って日本語検定5級に合格しました。



こども食堂ネットワークいるま・活動助成金報告書

報告日

事業名	こども食堂						
団体名	野田わくわく子ども食堂						
代表者名	中西隆幸						
助成金回数	食事あり	12	回	食事なし	回	食事あり延べ人数 573人	食事なし延べ人数
	年間活動回数	12	回	参加人数総数	人		
活動報告	一年を通してタケノコご飯や冷やし中華、流しソーメン、かき氷、芋煮会、ちゃんこ鍋など季節のメニューが提供できた。焼き芋大会やクリスマス会などの行事もできて楽しく活動できた。						



こども食堂ネットワークいるま・活動助成金報告書

報告日

年 月 日

事業名	放課後のあそび場ごろごろ（ほうかごのあそびばごろごろ）									
団体名	NPO法人あそびあーと子ども劇場いるま（えぬびーおーほうじんあそびあーとこどもげきじょういるま）									
代表者名										
助成金回数	食事あり	0	回	食事なし	61	回	食事あり延べ人数	人	食事なし延べ人数	773人
	年間活動回数		61	回	参加人数総数		773		人	

活動報告

自由あそびや自由工作、何もしないでのんびりしていてもいい遊び場として活動を続けている。見守る大人（スタッフ）は子どもたちの声を聴きながら、やってみたいことを見守るようにしている。リピーターの子どもたちは自分の居場所という意識ができていようで、荷物出しから片付けまで積極的に行っている。小学生が対象なので、下の子が小学生になりやっと参加できてうれしいという声や、学年が変わっても絶対に来ると言ってくれる子もいる。通常の活動以外にスペシャル企画の工作あそびをしたところ、その後の通常のごろごろでも続きの工作をして楽しんでいた。また、参加しなくても待ち合わせの場所にする子もいて、地域の子どもたちにとって安心な場所でもあるようだ。地区センターで活動中に様子を見ていた別のサークルの方が臨時のスタッフとして加わってくれたこともあり、地域のつながりも感じられた。また、出張ごろごろの白髭神社を宮の森団地に戻したことで、外国由来の住人の子どもたちが参加しやすくなったようだ。今年度も学校からの依頼で出張ごろごろを開催したが、昨年のごろごろを覚えていて、また参加したいと言ってくれた子もいた。気軽に遊びに来てほしいが、チラシでのお知らせが難しいことが課題になっている。

- 開催日数内訳…アート工房ごろごろ（11回）、ごろごろ東藤沢（15回）、ごろごろほうかご図工室（8回）
 ごろごろ東金子（18回）ごろごろ東金子スペシャル（1回）、出張ごろごろinみやのもり（8回）、
 出張ごろごろin小学校（2回）



こども食堂ネットワークいるま・活動助成金報告書

報告日 2026年 4月 1日

事業名	チャレンジひろば東町							
団体名	チャレンジひろば東町（ちゃれんじひろばあずまちょう）							
代表者名	山岡信幸							
助成金回数	食事あり	0	回	食事なし	45	回	食事あり延べ人数 人	食事なし延べ人数 人
	年間活動回数		45	参加人数総数		1716		人

活動報告

【小学生】

- 新規参加者が多くあったが、ほとんどが友人の紹介の形での参加で、特定の学年に偏った。
(逆に言えば参加者のきわめて少ない学年も生じている)
- 学校では課題の多いとされるこども、学力的に課題を持つこどもにも安定的な支援ができた。
- 年末にお楽しみ会を実施した。
- 保護者からの相談への対応も行った。

【中学生】

- 複数の受験学年の生徒への対応に力を入れたが、非受験学年の参加が不安定であった。
- 定期テスト対策が後手に回り、十分な成果を挙げられなかった。
- 中学生対応ボランティアの増員ができなかった。

【全体】

- 「東町にここ広場」との協働で月1回の軽食提供ができた。
- 6年目で初めて参加者が前年を下回った(とくに中学部)。
小学部は紹介が多いため、中学部は指導体制の問題からいづれも学校へのチラシ配布を控えてきた。
新年度は配布を再開したい。
- 外国ルーツのこどもについて、個別の指導、進学相談、保護者支援など、多くの皆さんの力を借りつつ行えた。
- 思わぬ寄付金もあり、収支は安定した。



こども食堂ネットワークいるま・活動助成金報告書

報告日 2026年 3月 18日

事業名	こども☆チャレンジひろば金子									
団体名	いるま学習支援の会									
代表者名	小田切典子									
助成金回数	食事あり	0	回	食事なし	43	回	食事あり延べ人数	人	食事なし延べ人数	495人
	年間活動回数	43	回	参加人数総数	495	人				

活動報告

こどもたちには毎週金曜日に宿題を終わらせて休みには好きな方をやりましょうと呼びかけました。
普段のひろばは、こどもたちの持ってきた宿題やタブレットを各自やってもらっています。
こどもたちの中には集中ができない子もいるため、そんな子には1対1で先生が付き添います。
始まりは16時で16時45分におやつを配りトランプやオセロゲームをやる子もいます。
17時には終わりの会をやってお帰りで。

夏休みは特別に9時からやりました。
地区センターのこどもの居場所づくりの取り組みとタイアップしてひろば終了後にはEスポーツの会場へこどもたちは行っていました。

クリスマスにはチョークアートを企画しました。
普段やったことのない作品作りにみんな大興奮でした。



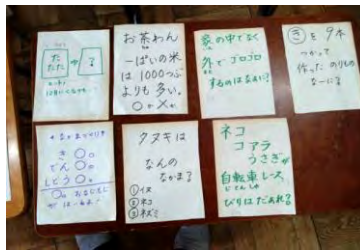
こども食堂ネットワークいるま・活動助成金報告書

報告日 2026年3 月24 日

事業名	こども★チャレンジひろば西武									
団体名	いるま 学習支援の会 いるま がくしゅうしえんのかい									
代表者名	小田切 典子									
助成金回数	食事あり	2	回	食事なし	33	回	食事あり延べ人数	59人	食事なし延べ人数	702人
	年間活動回数		35	回	参加人数総数		761		人	

活動報告

①2025年 4月～12月 西武地区センターで実施 スタッフさんと一緒に学習タイム 各自40分程度の学習の後は、お楽しみのおやつ!こども達も一緒にお手伝いをしてくれます。とても几帳面におせんべいをきれいに並べました。1学期と2学期の終わりには、お楽しみ会。軽食の用意もできました。12月はクリスマス会として、一人ひとりにプレゼントの用意もできました。②2026年1月～3月 西武地区センターが改修工事に入ったため、使用できなくなりました。そこで、西武小学校にお願いしたところ、教室の貸出の許可をいただくことができました。地区センター長さんや地域振興課の方々の応援のおかげです。学校での実施ですから、教室からの気分転換が大切と考え、クイズやなぞなぞ等を用意して、学習タイムの前にチャレンジしてもらっています。スタッフさんとのコミュニケーションケーションともなっています。



こども食堂ネットワークいるま・活動助成金報告書

報告日

令和8年4月4日

事業名	こども☆チャレンジひろば宮寺（こどもちゃれんじひろばみやでら）									
団体名	こども☆チャレンジひろば宮寺（こどもちゃれんじひろばみやでら）									
代表者名										
助成金回数	食事あり	3	回	食事なし	63	回	食事あり延べ人数	123人	食事なし延べ人数	598人
	年間活動回数		66	回	参加人数総数		721		人	

活動報告

一年を通して、土曜日午前中の「ひろば宮寺」への参加者は延べ38回390人であった。平均で10.3人程度であった。低調な状態が続いていて、対応策をいろいろ試みるも、緩やかに減っている。保護者や本人が求めるものと乖離して来ているかもしれません。アンケート等で調査を検討します。中学生ボランティアを数名募集して、机を並べた状態で一緒に勉強することも検討中です。そのボランティアとして来た中学生が分からない所はその場で教えることもできるし、ボランティア証明書も発行できます。

理科実験は「ひろば宮寺」のキラーコンテンツとして人気があり、毎月第4土曜日には、何回も試作検討した実験を見ることができます。並々ならない工夫と努力には頭が下がる思いです。

8月の終わりには、当「ひろば宮寺」の活動を杉島市長に視察して頂きました

9月からは、居場所の特別養護老人ホーム入間つつじ園とは一線を隔して、基礎学力をつけることを主眼に中学生を対象に「中学生チャレンジひろば宮寺」を少人数で開始し、25回開催した。別のひろばも行われた「中学生英語の基本のキ」の資料を作り、時々には「中学生英語の基本のキ」に立ち戻って確認できるようにした。中間・期末・入試の過去問のデータベースを寄付により購入し利用し始めています。

学期末には、勉強なしでカレーを食べたり、遊んだりする機会を「こどものプレーステーション」として設けて、息抜きと位置付けたり、学習支援の認知度を上げようとしています。当年度3回実施し、通算7回目となりました。

工夫しながら、来年度も元気に活動を続けて行きます。



事業名	黒須にじいろ広場					
団体名	黒須にじいろ広場					
代表者名	河野 真夢					
助成金回数	食事あり	7	回	食事なし	1	回
					食事あり延べ人数	431人
					食事なし延べ人数	50人
	年間活動回数	8	回	参加人数総数	481	人

活動報告

今年度も遊びの広場と子ども食堂という形で開催をしました。一日を通して思う存分遊べる環境を作っています。

毎年恒例となった地区センターと共催のじゃが芋掘りは残念ながら今年で最後。地区センター建て替えに伴い、地区センター内の畑も終わりとなります。今年も子ども達は泥だらけになりながら、土の中からじゃが芋が出てくるたび、嬉しそうな声が上がっていました。掘ったじゃが芋はすぐに子ども達が洗って、蒸かしてじゃがバターに。美味しくて最後は誰が食べるかじゃんけんになる程、大人気でした。

9月の活動日は入間市長の視察が行われました。食事の準備をするスタッフ、親子で遊ぶ参加者、子ども達の遊びの様子を見ていただきました。地域に大人に頼らなくても子ども達が自分の意志で自由に参加できる遊び場があることの大切さをお伝えしました。

今年も他団体との協働、共催を行いました。あそびあーと様の子どもライブフェスタin黒須小学校での協働、黒須地区センターでの文化祭参加、母子愛育会様の三世代交流ふれあいまつりでの共催と地域のイベントに参加することができました。

昨今の物価高やお米の価格高騰など子ども食堂の運営は容易ではありませんが、助成金やお米・野菜の寄付等、たくさんの方に支えられて運営することができました。感謝しています。ありがとうございました。



事業名	宮寺・二本木「いただきます」の会									
団体名	宮寺・二本木「いただきます」の会									
代表者名	岡崎 幸子									
助成金回数	食事あり	3	回	食事なし	1	回	食事あり延べ人数	175人	食事なし延べ人数	27人
	年間活動回数		4	回	参加人数総数		202		人	

活動報告 ①2025年4月5日二本木分館、児童36名ボランティア19名大人9名、合計64名

食パンロールパン、野菜スープ、ポッチャ、点字のお話し、全員合唱。

食パンロールパン、野菜スープ作り、自分でできること、やってみたいことを仲間と協力しながら楽しく作る

ポッチャは毎回盛り上がる大会、今回大人も入り対戦した。

②2025年7月31日特別養護老人ホーム入間つつじの園、児童19名ボランティア8名合計27名

今回はポッチャを中心に楽しんだ。ポッチャ初体験の児童は少し困惑した場面もあったが

優しく接してくれた児童のおかげで楽しく過ごす事ができた。

点字のお話しも静かに聞き入って最後は感想を伝えてくれた児童もいた。

③2025年8月30日二本木分館、児童(幼児含む)29名ボランティア18名一般参加13名合計60名

三色丼作り、点字のお話し、ポッチャ紅白戦、全員合唱

この日は杉島市長が視察に来られ子どもたちと歓談しながらご飯をいただきました。

ポッチャは今回紅白戦とし、ルールも厳しく設定。いつになく応援がヒートアップ、とても盛り上がった大会でした。

点字のお話しも静かに聞き想像力を高める良いきっかけになるのでとても人気。

毎回会の終わりに全員合唱を行っている。全員で一体感を持ち、会を終了。

④2025年12月14日二本木分館にて開催児童24名ボランティア16名大人9名合計51名

揚げないコロッケ、紙芝居、新聞紙ゲーム、ポッチャ大会、全員合唱

松本県議、永澤市議、長谷川市議が視察に来られ子どもたちと歓談しながら食事を楽しんだ。

今回は「新聞紙巻き取り」新ゲームの登場、新しいゲームに釘付けの様子で子どもたちは大きな声で楽しんでいた。

時間を忘れるくらい夢になっていたいつになく楽しそうな笑い声がいつまでもホールに響いていた。

会の終わりの全員合唱、今回も大きな声で一生意気歌う姿が印象的でした。

次年度も美味しいお料理づくり、たくさん仲間づくりができる楽しい会にしたいと思います。



事業名	子ども食堂									
団体名	むささび食堂									
代表者名	鳥山政之									
助成金回数	食事あり	7	回	食事なし	0	回	食事あり延べ人数	602人	食事なし延べ人数	人
	年間活動回数	7	回	参加人数総数	642	人				

活動報告

活動場所：入間市青少年活動センター 調理室・食堂

活動状況：冒険遊び場「いるぱーく」との併催4回：

参加人数386人(平均96.5人) スタッフ24人(同6人)

青少年活動センター春夏フェス内開催2回：

参加人数220人(平均110人) スタッフ12人(同6人)

単独開催1回：

参加人数36人 スタッフ4人

総計7回：

参加人数642人(平均91.7人) スタッフ40人(同5.7人)

まとめ ①単独開催では利用者呼び込めない(告知は 青少年活動センターのFacebook等で実施)

②スタッフも人員不足の状態が継続しており、運営体制の見直しが必要

③日頃から青少年活動センターを居場所として利用している小中学生は利用している

④来年度も冒険遊び場「いるぱーく」との併催を継続が必要

いるパークは幼児から参加できるので、保護者が連れてくるので、大人の参加者も多い
 こどもは無料、大人には運営に協力頂くということで300¥を頂いています。
 その大人から頂いた協力金と助成金により継続運用が可能になっています。



事業名	こども食堂 子どもの居場所						
団体名	M BASE						
代表者名	鈴木 雅喜						
助成金回数	食事あり	8	回	食事なし	回	食事あり延べ人数	食事なし延べ人数
	年間活動回数	8	回	参加人数総数	163	人	

活動報告

昨年8月にオープンした子ども食堂・子どもの居場所です。最初は、子ども達が来てくれるか心配していましたが、徐々に広まっていき多くの子どもさんが来てくれるようになってきました。いろいろな悩みを抱えているお子さんが来られたり、悩みを抱えているお母さんが相談に来られたりと、M BASEの輪が広がりつつあります。ここに来れば、暖かい食事と居心地のの良い場所があるとってくれる様になって来ています。異年齢の子ども達が、みんなで仲良く駆けまわったり、ゲームを自分たちで考えたりして楽しい時間を過ごして貰いました。これからもみんなの秘密基地として、居場所の提供をしていきたいと思っています。 以上



事業名	一般社団法人こそだてびより									
団体名	一般社団法人こそだてびより									
代表者名	鳴海愛美									
助成金回数	食事あり	4	回	食事なし	0	回	食事あり 延べ人数	249人	食事なし 延べ人数	人
	年間活動回数		4	回	参加人数総数		249		人	

活動報告

子ども食堂の参加人数は、12月63名、1月32名、2月104名、3月50名となりました。

1月は年始の影響や寒さもあり参加人数はやや落ち着いたものの、2月には100名を超える多くのご参加をいただき、地域におけるニーズの高さを改めて実感する結果となりました。3月においても一定数のご参加があり、リピーターとして継続的に利用して下さるご家庭も少しずつ増えてきております。

また、参加者のご紹介によって新たにご利用いただくケースも増えており、地域の中で本活動が少しずつ認知され、広がりを見せていることを感じております。

物価高騰の影響が続く中、食の支援に対する関心は依然として高く、「とても助かる」「子どもが楽しみにしている」といった声も多く寄せられております。限られた時間ではありますが、安心して過ごせる場の一つとしてご利用いただけていることを大変ありがたく感じております。

今後も地域の子どもたちとご家庭に寄り添いながら、無理のない運営を心がけつつ、継続的な支援活動と居場所づくりに取り組んでまいります。



事業名	こども食堂									
団体名	Green Dining									
代表者名	森下 翔子									
助成金回数	食事あり	0	回	食事なし	0	回	食事あり延べ人数	人	食事なし延べ人数	人
	年間活動回数	3	回	参加人数総数	593	人				

活動報告

令和7年5月25日(日)開催

- ・食料品・日用品の無料配布、縁日体験（ボールゲーム）、介護・障害・育児相談等

令和7年11月16日(日)開催

- ・食料品・日用品の無料配布、縁日体験（千本釣り）、介護・障害・育児相談等

令和8年2月8日(日)開催

- ・食料品・日用品の無料配布、介護・障害・育児相談等 雪のため豚汁は中止

